

釜利谷地区および周辺地域の利用施設



地区の特徴

釜利谷地区は、釜利谷東1～8丁目、釜利谷南1～4丁目、釜利谷西1～6丁目、主に16の自治会・町内会で構成されています。

地区内には小学校5校、中学校2校、義務教育学校1校、釜利谷高校や関東学院大学キャンパス、金沢自然公園、市民の森、せせらぎ緑道や小川アメニティなど、豊かな生活環境や景観に恵まれています。

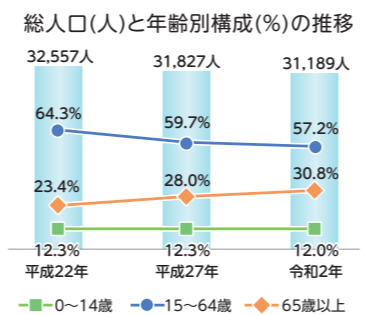
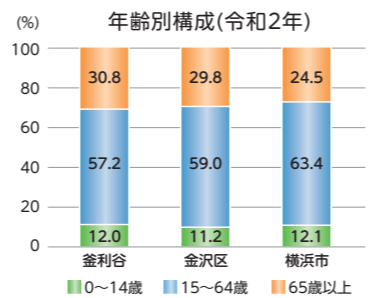
地区の統計データ

- 人口 31,189人
- 世帯数 14,361世帯
- 高齢化率 30.8%

出典) 横浜市統計ポータルサイト「町別年齢別男女別人口」による(令和2年3月末現在)

※人口及び世帯数は町・丁目単位の統計数値に基づき算出したものであるため、実際の地区の数値とは異なります。参考データとしてお取扱いください。

釜利谷地区の65歳以上の人口比率は、区平均・市平均を上回っています。人口は約31,200人ですが、この10年減少しています。0～14歳の人口割合はほぼ横ばいですが、15～64歳の人口割合が減り、65歳以上人口の割合が増えています。



計画立案 釜利谷地区社会福祉協議会・釜利谷地区連合町内会
 発行 横浜市金沢区福祉保健課 横浜市金沢区社会福祉協議会
 横浜市釜利谷地域ケアプラザ 横浜市西金沢地域ケアプラザ 令和4年2月発行

このリーフレットは、赤い羽根共同募金配分金により作成しています。



金沢ささえあいプラン

第4期金沢区地域福祉保健計画
 地区別計画(令和3年度～7年度)

釜利谷地区



誰もが安心して暮らせるまち 認め合い、助け合い、笑顔あふれる「釜利谷」



策定への想い

第4期目の地区別計画では、第1～3期までに実施してきた各種事業に加え、青少年を含めた多世代の交流を図るために「ボランティア活動の場づくり」の検討を始めました。また、「ちょいボラによる地域の支え合い活動」の輪を地区内の自治会・町内会に広げます。幼児から高齢者まで『誰もが安心して暮らせるまち、認め合い、助け合い、笑顔あふれる釜利谷』を推進しましょう。



釜利谷地区センター



釜利谷地域ケアプラザ



西金沢地域ケアプラザ

健康づくりで元気に暮らそう

こどもからおとなまで、みんなが毎日を元気に過ごすため、介護予防・健康増進の取組を進めます。

- みんなで体操
- いきいきウォーキング

〈実施主体〉

保健活動推進委員会・シニアクラブ



高齢者の暮らしのために

高齢者が安心して、いきいきと暮らせるよう、認知症予防や地域の見守りを行い高齢者同士の交流を深めます。

- 認知症理解の促進
- 敬老芸能大会
- 高齢者の見守り
- 高齢者のふれあいの場づくり

〈実施主体〉

保健活動推進委員会・民生委員児童委員協議会・シニアクラブ・地区連合町内会



子育てを応援します

こどもの健やかな成長のため子育てを地域ぐるみで見守り、支援します。

- 親子ほっとサロン
- 親子すくすく広場
- 親子音楽会・親子で体操
- 子育て支援体制の強化



〈実施主体〉

子育て連絡会・民生委員児童委員協議会・保健活動推進委員会

青少年の育成のために

地域の小学校、中学校、世代間の交流を行い、地域全体で青少年の健全な育成を図ります。

- 青少年の健全育成の取組
- 青少年の見守り活動
- 球技大会
- さわかさスポーツの推進
- こどもの広場
- 新春百人一首大会
- 多世代やボランティア活動の場づくり(新規事業)

〈実施主体〉

保護司会・更生保護女性会・主任児童委員・青少年指導員・地区連合町内会・スポーツ推進委員・地区社会福祉協議会



障がい児者の暮らしのために

障がい児者とその家族が安心して暮らせるように、地域の支えあいの輪を広げます。

- 障がい児の支援活動
- 障がい児者への理解促進

〈実施主体〉 ホイール若菜



みんなで作る住みよいまち

誰もが、人と人とのつながりや地域の魅力を実感でき、ずっと住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

- 広報誌「かまりや」の発行
- 「社会を明るくする運動 地区大会」
- 消防団・防災拠点・町内防災担当者の情報交換
- 地域の資源を活かした自主事業の継続
- 防犯パトロール・あいさつ運動
- 移動販売「安心お届け便」
- ちょいボラによる地域の支え合い活動(新規事業)

〈実施主体〉 地区社会福祉協議会・地区連合町内会・釜利谷おたすけ隊

